

バカとお金持ちと仲間
達

れっくしー

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

明久は仲間以外知られていない財閥の御曹司だったが友達と暮らしたいがためにわざと貧乏な暮らしをしていたが親友だと思っていた人に裏切られ暴力を振るわれていた。それを救ったのは仲間達だった。そんな明久と仲間達が無事に学園生活を送り、社会を生きていく物語

物語のシーズンについては

1 学園編

2 最終学年編

3 社会人編

4 夫婦編

にしたいとおもっています。文を考えるのが苦手なのでおかしくなるときもあると思います。ですが楽しくご覧いただけたら嬉しく存じます。

目次

朝	1
設定	4
教師陣と財閥と教科の設定	15
始業式とクラスと成績表	19
目覚めと暗躍の結果	22
召喚戦争準備	25
召喚戦争	28
戦後対談と人員補充	33
設定Ⅱ	36
オリエンテーション1	45
オリエンテーション2	48

朝

「*ぴゅぴゅ*の時半です。起きましよう。」

ピツと目覚ましを止め明久は起きる。

明久「ふわあああ。眠い。」

隣の部屋から康太が出てきて明久に言う。

康太「明久おはよう。もう準備できてる。秀吉が飯作ってるハズだから行こう。」

明久「・・・うん」

明久と康太はキツチンへと向かうのだった。なぜ、康太や秀吉がいるのかというと、明久は親友だと思っていた雄二らに裏切られ暴力を振るわれていた。生死の境をさまよい家にも雄二らが来て、玄関を蹴破ろうとしたり明久の物を盗んで燃やそうとしたりと大変だった。それから明久は家を引っ越し、信頼できる友達であり、かぞくでもある康太と秀吉と一緒に家で住むという条件で一緒にすんでいる。勿論優子も一緒である

秀吉「おはようじゃ。明久。姉上も起きておるぞ。」

優子「あきくん、おはよう」

優子とは、付き合っており一応婚約者である。そして四人で食べたりしているとテレ

ビから時報が聞こえてくる。

テレビ「7時半になりました。みなさん、今日も頑張りましょう！新しい朝が来た、希望の朝が」

ラジオ体操ならぬテレビ体操を少し行ったあと、家の前には一台の高級車が止まっていた。

「明久様、康太様、優子様、秀吉様おはようございます。翔子お嬢様がお待ちでございます。さあ、乗ってください」

声をかけてきたのは霧島財閥の翔子専属執事桑原英治さんである。

翔子「あき、ヒデ、優子、コウおはよう。遅れるから一緒に行こう」

と翔子がいったため四人は顔を見合わせわらいあいながら車に乗り込み学校へ向かった。だが、それを見ていた二人の男女がいた。

雄二「翔子にのせてもらうなんて言語道断だぞ明久！学校で覚えている！」

島田「ユウ君。そうだよ。あきには、幸せは訪れなくていいんだから！」

二人は学校へ先回りし生徒玄関で待つが一向に明久は来ず、仕方なくFクラスに向かった。なぜ、明久らは来なかったのかというと、明久はAクラスではない、明久とその仲間達のために作られた特別教室、職員室直結のSクラスである。教室は職員室のある特別別館にあり、下足箱まで車で行けるのだ。また、この特別別館の職員室は、本館

の職員室と電話で繋がっており職員会議もここで行えるようになっており、本館からひとつ崖を下ったしたにあるので他の生徒との関わりはあまりないのである。だが秘密通路があり、特別別館に来ることができたためゆだんはできないのであった。

明久は教室にはいるとそこにはもう仲間達が座っており明久を待っていた。

??? 「明久！遅いぞー！今日も頑張るぞー」

明久 「うん！がんばろ！源くん！」

設定

吉井明久【よしいあきひさ】

文月学園第2学年Sクラス代表

文月学園暴力事件の被害者

吉井財閥の御曹司

婚約者がたくさんいる。

姫路島田らのことがきらい。

家族

吉井昭二（話には出てこない） 祖父 吉井財閥創立者

吉井牙狼 父親 吉井財閥2代目会長

吉井めぐ 母親 吉井財閥会長秘書

吉井玲 姉 元次期会長候補

（明久に暴力を振るい勘当された）

呼び方 信頼してる仲間は今前呼び

信頼してない人は名字呼び

一人称は基本 「僕」

家は 「俺」

婚約者

木下優子 工藤愛子 霧島翔子 佐藤美穂 清水美春

小山友香 岩下律子 菊入真由美 原良沙織 原良葉

1年前に起こった文月学園暴力事件の唯一の被害者。明久からの恩を仇で返した奴らから生死の境をさまようくらいに暴力を受けた。体にはそのあとが生々しく残っている。もともと頭がよかったため、2年の振り分け試験でAクラスに入籍が決まったがクラスメート（久保以外の男子生徒）から罵倒されたため、学園長の計らいによりSクラスを設立。Sクラスには、明久の恩を返そうとする者らが集まってできる。

土屋康太「つちやこうた」

文月学園第2学年Sクラス

文月学園暴力事件の関係者

明久専属執事で元吉井財閥写真家

明久の親友であり味方の1人

彼女は今のところはいないが惚れられる予定

1年前の文月学園暴力事件の関係者。明久への暴力をひた隠しにされてきて我慢で

きなくなり写真におさめ、マスコミに売った男。元吉井財閥写真家だったがその力を買われ、明久専属執事となる。

木下秀吉【きのしたひでよし】

文月学園第2学年Sクラス

文月学園暴力事件の関係者

明久専属料理人

姉の優子は、明久の婚約者

明久の親友であり味方の1人

彼女は今のところはいないが惚れられる予定

1年前の文月学園暴力事件の関係者であり、十年前の吉井玲骨折事件の関係者である。

秀吉は、明久の料理人の弟子であり、料理人の命でもある手を骨折させ、料理するのを怖くさせ、料理できなくさせた玲を、恨んでいる。料理人をする傍ら玲の動向を探っている。

木下優子【きのしたゆうこ】

文月学園第2学年Sクラス

文月学園暴力事件の関係者

明久の専属秘書

明久の婚約者その1

弟の秀吉は、明久の専属料理人である

授業以外は片時も明久のそばを離れず腕に巻き付いている。

工藤愛子【くどうあいこ】

文月学園第2学年Sクラス

明久専属秘書

明久の婚約者その2

授業中明久の後ろのため明久の匂いを嗅ぎながら、寝てることが多いが明久に注意されると真面目に受けようとするがまた眠くなってしまう癖がある。

霧島翔子【きりしましゅうこ】

文月学園第2学年Sクラス

霧島財閥お嬢様

明久の婚約者その3

元雄二の婚約者だった

1年前文月学園暴力事件を起こすまでは雄二の婚約者だったが、事件が起きてからは明久のそばにおり、雄二とは、婚約破棄をして、明久と婚約する。霧島財閥と吉井財閥

は傘下関係。吉井財閥の傘下である

佐藤美穂【さとうみほ】

文月学園第2学年Sクラス

文月学園暴力事件の関係者

明久の幼馴染み

明久の婚約者その4

明久とは、幼稚園からの幼馴染みで一番明久と仲が良い。文月学園暴力事件では、明久と一緒に明久の母親の誕生日のサプライズパーティーを考えていた時に襲われた。明久に悪いと謝ったが美穂は悪くないと言われそこで告白し付き合うようになった。婚約者が数人いるのは気にしないようである。

清水美春【しみずみはる】

文月学園第2学年Sクラス

明久の幼馴染み

明久の婚約者その5

明久の小学校時代からの幼馴染み。美穂の次に仲が良い。高2になる前に告白し付き合うようになったために島田に毒されずに済んだ。同性愛者ではないが明久に溺愛している。

岩下律子〔いわしたりつこ〕

文月学園第2学年Sクラス

科学大臣賞中学部門優勝者

明久の婚約者その6

明久と出会ったのは中学生の時、科学ばかりで友達がいなかった。唯一話しかけてきてくれたのが明久だった。明久と話すうちに打ち解けていつて科学と生活を両立できようになり、明久のそばを離れなくなった。高校にあがる前に告白し付き合うようになるが婚約者になったのは6番目である。明久が御曹司なのは知っている。

小林真由美〔なかばやしまゆみ〕

文月学園第2学年Sクラス

吉井財閥音楽家

明久の婚約者その7

明久の目覚まし時計の声も真由美の声である

明久の実家で音楽家としてバイトをしている。明久とある意味幼馴染みであるが、明久が中学にあがると同時に家を出たため寂しくなり動向を探っていた。家族は両親に捨てられ、明久の母親が親代わりとなっていた、明久とは義理の妹となる。高校に入るときに入学式で明久を見つけ抱きつき告白し付き合うようになる。住む場所は違うが

明久が動くと後ろをついて歩くようになった。

小山友香【こやまゆうか】

旧姓如月友香

如月財閥の元お嬢様

父親のところに住むようになり小山になった。

明久の婚約者その8

元如月財閥のお嬢様だったが母親による強制的な結婚をさせられるようになったところを明久に助けられる。吉井財閥の傘下である如月財閥は、縁を切られて、友香をまた別な人と結婚させられるときいた明久は、家に来るように言う。そして、その場で告白し明久の婚約者となる。財閥同士の連絡会には参加はしないものの、関係者であるため、行かない訳にはいかず控え室にずっといる。一度レイプされそうになり、それから霧島財閥の秋吉さんがそばについている。

原良沙織【はららさおり】

原良財閥のお嬢様1

明久の婚約者その9

吉井財閥とは同盟関係

吉井財閥と同盟を結ぶとき顔合わせがありそのときに明久と出会う。すでに明久の

そばには優子と美春、美穂に友香がいたのだが気にせず互いに話すようになり告白付き合うようになる。財閥は弟に任せ、いつでも吉井財閥に行けるように準備している。

原良葉【はららしおり】

原良財閥のお嬢様2

明久の婚約者その10

翔子の幼馴染み

内気な性格だったため、翔子とはじめてであつたとき明久とも出会う。翔子が明久と付き合っているという話を聞き吃驚したが明久の性格に惹かれていつて、姉の一日違いで明久と付き合うようになるがよく姉と場所争いをして、明久に怒られている。

高輪玲【たかなわあきら】

旧姓吉井玲

高輪財閥次期会長

吉井家から絶縁された後、4つ年上の高輪高明と結婚。

高輪玲となるが1年前高明がある事件の関係者で逮捕され、代わりに玲が次期会長として選ばれているが玲もある事件の関係者であり、裏で手を引いている真の司令塔であ

る

坂本雄二【さかもとゆうじ】

高輪財閥次期社長

文月学園暴力事件の加害者

文月学園第2学年Fクラス副代表

暴力事件の加害者であり、玲の弟分。家を出て高輪家に住むようになる。明久を敵対視しており改心はしないようである。

島田美波【しまだみなみ】

高輪財閥次期社長夫人

文月学園暴力事件の重要参考人

雄二の婚約者1である

雄二の婚約者で、明久には今は、ほれていない。事件の重要参考人である以外は原作通り

須川秀夫【すがわひでお】

吉井財閥の情報技術者

高輪財閥参謀

文月学園第2学年Fクラス↓Sクラス

吉井財閥よりスパイで入っている。週に4回吉井財閥には情報を流している。高輪財閥や玲にはばれていない。暴力事件の日は、情報技術者の試験があり知らなかったが明久を守れなかったことを後悔している。明久に勉強を教わっている。Sクラスに途中編入予定である。

姫路瑞樹【ひめじみずき】

高輪財閥次期会長秘書

雄二の愛人

文月学園第2学年Fクラス

もともと頭がよかったがFクラスに毒され、頭が悪くなった。雄二の愛人となった今は明久に想いは無いが暴力を振るう。事件とは無関係だが今暴力を振るっているの疑われている。あとは原作通り

姫路春【ひめじはる】

高輪財閥内姫路城城主

元明久の婚約者

文月学園第2学年Cクラス

元明久の婚約者として、明久を言うこと聞くように教育していた。が、それもうまくはいかずそれを見ていたものによって問題が発覚し婚約者から外れた。春は高輪財閥

の人間で吉井財閥を陥れようとしていたのだ。また、玲の妹分で明久と結婚したら、春と玲しか考えられないようにするために誘拐も考えていたらしい。改心予定。

東雲一葉【しののめかずは】

吉井財閥の探偵事務所の探偵

文月学園第2学年Sクラス

康太が好き

康太が事件のことをマスコミに流したとき、援助した1人。それから人のために動く康太に惹かれていった。

寿蘭【ことぶきらん】

文月学園第1学年Aクラス↓2年Sクラス

吉井財閥探偵事務所探偵見習い

秀吉が好き

事件のことは一葉からきいており、許せない覚悟でいる。1年ではあるが飛び級できるほど頭がいい。2年Sクラスに飛び級予定。

教師陣と財閥と教科の設定

西村宗一【にしむらそういち】

文月学園指導部兼第2学年Fクラス担任

明久の味方

1年前は明久の秘密を知らず、なんでもかんでも明久が悪いと思っていた。が事件が発覚し、当初は明久を疑っていたが悪くないかと思つてたやつが暴力を振るい加害者だと思つていた明久が被害者だったと気づいたとき退職届を学園長に出したほど反省していた。学園長と吉井財閥から説得され教諭を辞めずに済んだが、せめての罪滅ぼしをしたく、Fクラスの担任を望んだ。少しでも教育して、真人間にするべく入つたのだがそれも残念に終わるとはこのとき思つていなかっただろう。

大島哲二【おおしまてつじ】

文月学園保健体育教諭

明久の味方

明久とは親戚関係にあり、昔から明久の家庭教師をしていた。高校に入学しあの忌まわしき事件が発生し、明久にそばについていたのに守れなくてすまないといい自殺を図

ろうとしたが明久に止められ断念し、明久の味方の1人として、一日に二回は教室にきて、相談にのっている。

水越奏【みずごしかなで】

文月学園数学教諭

原作の結婚を逃している教師の代わり

明久らが3年になるとき、松村尚哉と結婚する。

松村尚哉【まつむらしようや】

文月学園音楽担当教諭

如月財閥の養子

如月財閥の養子ではあるが明久の味方の1人である。明久らが3年になるとき水越先生と結婚し、明久を守りながら幸せに暮らす。

他明久の味方の教諭 15人

藤堂カヲル【とうどうカヲル】

文月学園学園長兼Sクラス担任

吉井財閥同盟藤堂財閥責任者

明久を昔から知っており、明久を守ろうと必死で頑張ったが悲劇が起こってしまった

た。西村の辞職をやめさせ共に守ると決意し頑張っている。

財閥のお茶会

財閥の責任者が集まって情報交換をする場。ここに集まる財閥の関係者は次の通りである。

吉井財閥責任者 吉井牙狼（明久の父親）

傘下

霧島財閥責任者 霧島俊司（翔子の叔父）

如月財閥責任者 如月博巳（友香の祖父）

同盟

原良財閥責任者 原良青葉（沙織&栞の弟）

藤堂財閥責任者 西村宗一（カヲルの代役）

敵対

高輪財閥責任者 高輪玲（明久の実の姉）

同盟

姫路城責任者 姫路春（瑞樹の妹）

教科説明

文月学園には次の教科がある。

国語【現代文・古文・作文・漢字力】

数学【小学算数・高校数学】

理科【科学・理学・化学・幾何学】

社会【歴史（日本史・世界史）・地理・公民・現代社会】

英語【リスニング・会話力】

保健体育・家庭科・音楽・コンピュータ技術・人守りの教科

というものがあるのだった。

始業式とクラスと成績表

ここはSクラスがある特別別館。ここの体育館に数人の生徒と3人の教師がいた。本来始業式は本館の体育館で行われるのだが、Fクラスの連中や雄二らが暴力を振るう可能性があるため、別館にて中継を通して参加しているのだった。

本館では、始業式が始まっていたが教師は、生徒の暴動を収めるのに必至で、始業式どころではなかったが、カヲルは、それを気にとめず、スピーチしていた。

モニターからはこんな声が聞こえていた。

「吉井！吉井！吉井はどこなのよ！でてらっしゃい！」

「吉井くん！今なら命ひとつで許してあげますから出てきてください！」

「明久！お前の不幸は俺の大好物なんだよ！早く出てこい！」

そこにFモブがある一言を言ったら、Fクラスの連中が全員出ていった。

Fモブ「ボスから指令が入った！」

教師は不審に思ったのか、1人暗躍に頼んだ。

本館 s i d e 終了

別館 s i d e

モニターをみていた明久はブルブル震えて、床にうずくまってしまったが、康太と優子が支えたたせてくれた。

明久「まだ震えが止まらないよ。」

康太「大丈夫だ。俺らが守る！だがボスか。気になるな。」

秀吉「暗躍をうちからも出す必要があるのではないかのお。」

優子「あきくんは私達のそばにいて。」

真由美「あきくん。」

四人は明久のそばについて、始業式が終わったあと、クラスに向かった。教室にはいとすぐにカヲルがやってくる。

カヲル「吉井。大丈夫かい？原良姉妹！暗躍頼めるかい？須川にも動いてもらって。教師は比叡先生だ。頼めるかい？」

栞・沙織「了解です！あきくん。行ってくるね。」

栞と沙織は了解といい、明久の頬にキスをして暗躍に出ていく。それをみていた女性人が明久にキスの雨を降らせるのは目に見えていた。

原良姉妹が暗躍に出掛けたあと康太が言った。

康太「コンピュータールームにメールが来ている。行くか？」

明久は行くといい、康太、優子、秀吉、真由美を連れ、コンピュータールームに向かっ

た。そのあとを遅れないように、源二と古沢が向かった。

コンピュータルームにつくと一機のパソコンにメールが入っていた。それは、Fクラスにいるスパイ、須川からのメールだった。メールの内容こうだった。

「Aからの指令

文月学園内にある秘密の抜け穴を見つけろ！見つけ次第報告しろ。報告あれば次の指令を出す。

メイドのAより」

その文面を見た明久は頭を抱え倒れ混んでしまった。

明久「痛い！この文面、見たことある。痛ててて」

秀吉は倒れた明久を見たあと文面を見てある人物を思い浮かべるが、今は明久を助けることが先立と思い、古沢が運んできた担架にのせて保健室に向かった。

目覚めと暗躍の結果

ここは別館とロープウェイで繋がっている警察病院。明久のベッドの前に康太ら専属部隊と親衛隊が集まっていた。そして、数分後、明久が目を覚まし起き上がったのだ。その明久に優子と友香と真由美と美穂が飛び付いた。

明久「んっんん。あれ、ここは？あれ、皆揃ってどうしたの？ってうわあ！」

優子「あきくん!!あきくんあきくんあきくん！」

真由美「もう、心配したんだからあ！」

友香「あきくん!!あきくんあきくんあきくん！」

美穂「あき〜」

そして、明久は四人を落ち着かせ康太と進の話を聞いた。

康太「という理由でお前は倒れたんだ。どうだ？調子は？」

進「運んだのはおれと源二だ。あとで、お礼いっとけよ。」

明久は軽く礼をすると、考え始めた。

明久「FクラスとDクラスの間にあるEクラスの秘密のへやが別館に繋がっているのを知ってるのは、ここにいる皆とカヲルさんとその側近。うーん。愛子。いる？」

愛子「なに？あつきー」

明久「カヲルさんに話を通してカヲルのさんの側近を詳しく調べてほしいんだ。律子「私もいくわ！」わかった。愛子と律子で調べてきて。」

命じられた二人はすぐに出ていった。さらに明久は指示を出した。

明久「進！スポンサーを調べて行ってほしいんだ。」

進「承知した。源二と恭二つれて行っていいか？」

明久「いいよ。但し、怪我をしないようにね。」

進「わかった！」

進は教室に向かっていった。

そのとき部屋の扉が開いた。原良姉妹である。

沙織「ごめん。守れなくて！カヲルさんに報告したら遅れちゃった！」

栞「裏で暗躍している組織があつたよ。その組織はYZT、通称吉井財閥を潰す会だよ。それを指示してるのは、高輪財閥だった。そして、言いくいんだけど、指示をしているのは秀吉「玲どこのというわけじゃな」はい。」

明久は玲の名を聞くとまた、気を失いかけたが、なんとか持ち直し、親衛隊に指示を出した。

明久「親衛隊！頼みがある！もしものために召喚戦争の準備！さらになるべく持ちこ

たえてほしい！康太！優子！友香！真由美！美穂！そして、調べにいつている進と翔子は、ここに残って勉強して、最終防衛ラインとして頑張ろう！」

親衛隊「了解!!!」

康太ら「了解!!!」

一方その頃Fクラスでは

雄二「なんで見つからないんだ！どこにあるんだよ！須川！調べろよ」

須川「嫌だね。おれは、勉強で忙しいんだ。じゃあな」

雄二「くそくそくそー、須川のやつころしてやるー。」

と雄二が騒いでいたのを、聴いていた別のだれかが見ていた。そいつはどっち側のみかたなのかは、わからない。

召喚戦争準備

ここは、Eクラスの秘密の抜け穴。ここにはある条件でしか開かない扉があるのだが、須川のうちかりミスで、見つかってしまい、Fクラスがなだれ込んでしまうのだつた。

Fモブ「こちら須川監視部隊。とうとう須川の怪しい行動を見つけました。場所はEクラスの特別保安室。ここに入っていくのを確認。尚、場所を確認したところ、怪しい扉を発見。暗証番号が必要のようですが、来てもらえませんでしょうか？」

雄二「了解。でかした。これよりボスに報告し、おれと本隊で向かう。待っている。いくぞ！ 田川！ 高山！ 原良！」

3人「了解！」

その頃Sクラスでは。

ガラツと扉が開いて須川が入ってきた。

須川「兄貴はいる？」

源二「あきなら病院だよ。ここはFクラス最前線だ。あきに用なら、進！ おまえ、側近だろ？ 須川つれていってやれよ。」

進「ああ。わかった。んっ？」

美春「進さま。親衛隊青年団からの情報です。須川様の後をつけていたFクラスがあの扉を発見し、解読に取りかかっている模様。尚、Aは今は動いてない様ですが、今後とも注意が必要との事です。」

美春は、Sクラスの諜報員、コンピューターや監視カメラ等の操作を行い、そこから情報を得て、明久に流しているのである。

数秒後明久を代弁して、秀吉から連絡放送がなる。

放送（秀吉）「あーあー。こちら、明久専属料理人、木下秀吉じゃ。Sクラス及び須川に連絡する。まずSクラスのメンバーに知らせるのじゃ。先程、明久が目覚まし、ワシらに、指令を出したのじゃ。Sクラスに残っている親衛隊は、Fクラスが攻めてくるであろうがなんとか持ちこたえてほしいとの指令じゃ。そこで倒せるようであれば倒しても構わんのじゃが、要注意人物らがいる。坂本雄二、姫路瑞樹、島田美波、姫路春、そして、手を出してくるかはおからのじゃが、奴等の司令塔にして、謎のAこと玲どのじゃ。玲どのは、元吉井財閥の次期会長候補じゃったが、明久に暴力を振るい、さらに、料理人の命でもある腕に後遺症が残るほどの大怪我をさせ、料理恐怖症にしてしまったのじゃ。いまは、ほとんどなおってるのじゃが、台所にたつと倒れてしまう。腕が震えてしまうというのが残っておる。その玲どのも動くとはまだわからないのじゃが

よく注意をしてほしいのじゃ。Fクラスに不審なやつがいたら、すぐに報告をするのじゃ。

次に須川じゃが、これ以上スパイを行つても逆に怪しまれるだけなのじゃ。これより、進について病院に来て、勉強して、召喚戦争に備えるのじゃ。(ウーウーウー。緊急事態。侵入者あり。侵入者あり。) Fクラスが攻めてきたのじゃ。総員戦闘準備じゃ
！」

皆「了解!!」

召喚戦争

ここはSクラスの教室。Fクラス代表である、坂本雄二が外にFクラスメンバーを残し、戦前対談に来ていた。

雄二「失礼する！この代表はいるか!？」

源二「代表は所用あつてここにはいないがこの指揮を任されている平賀源二だ。どうしたんだい？Fクラスいや、AくFクラス男子総部隊司令官坂本くん？」

雄二「ちつばれてたか!んっ?お前はAクラスの久保!おまえ、なんでここにいる!」
久保は、明久に不信感を抱いていないため、Sクラスに協力することに決めたのだ。
久保「僕は君たちに協力するといった覚えはないよ。どちらにつくかつて言われたらSクラスにつくに決まってるじゃないか。言つとくけど、AくEクラスの女子は、安全なところに避難させてある。全員Sクラスの味方だよ。」

雄二「ちつ!俺達、Fクラスは、このSクラスに7対7の一騎討ち召喚戦争を挑む!」
源二「拒否権ないからね。是非ともうけさせてもらうよ。教科はそっちが4、こっちが3と言うところでもいいかな?」

雄二「いいだろう。すぐ対戦だ」

雄二・源二 side out

Fクラス出場メンバー

- 1 横溝 集 (Fクラス)
- 2 原良 義一 (Fクラス)
- 3 佐川 真二 (Bクラス)
- 4 島田 美波 (Fクラス)
- 5 田川 清徳 (Fクラス)
- 6 姫路 瑞樹 (Fクラス)
- 7 坂本 雄二 (Fクラス代表)

Sクラス出場メンバー

- 1 平賀源二 (元Dクラス代表。Sクラス参謀)
- 2 根本恭二 (元Bクラス代表。Sクラス参謀)
- 3 古沢 進 (Sクラス代表側近)
- 4 霧島翔子 (Sクラス副代表)
- 5 木下秀吉 (Sクラス代表側近)
- 6 土屋康太 (Sクラス代表側近)

7 吉井明久（Sクラス代表）

一回戦

Fクラス 横溝 集 50

vs

Sクラス 平賀源二 500

教科 国語

横溝は、高輪財閥特製の盾を使っていたが、源二の巧みな技により、盾が八切りに切れ横に落ち、その隙をついて横溝の召喚獣を斬り倒した。

2回戦

Fクラス 原良義一 500000

vs

Sクラス 根本恭二 90000

教科 社会

恭二は、義一と突いて突かれてだったが、点数がたたり、義一の一手により敗退してしまった。

ここまでで、Fクラス 1 対 Sクラス 1である。

3 回戦

Bクラス 佐川真二 1000

vs

Sクラス 古沢進 100000

教科 数学

佐川は根本の次に頭がよかったのだが、腰巾着のように、根本にすがっていたが根本がいなくなったことにより、頭が少し悪くなったのである。進による一方的な攻撃によりなすすべもなく、倒されてしまった。

4 回戦

Fクラス 島田美波 100

vs

Sクラス 霧島翔子 100000

教科 国語

島田は雄二によって教えてもらったがすぐにはできなく、翔子によって突き抜かれてしまった。

ここまでで Fクラス 1 Sクラス 3

5 回戦

Fクラス 田川清徳 30000

vs

Sクラス 木下秀吉 99999

教科 家庭科

清徳は、得意科目は護衛、苦手科目は家庭科のため、頑張ったのだが、普段から明久の専属として、裁縫や料理を行っている秀吉にはかなわかったようだ。ここに、召喚戦争は終わってしまった。

戦後対談と人員補充

試験戦争が終わり、二つのクラスの代表らを残して、Fクラスは、下校し、Sクラスは明久のところへと向かった。

源二「さて、負け組諸君。強制執行の時間だよ。」

雄二「わかってるから。早く言えよ！」

源二「では、1つ目。Fクラスの設備は、高輪財閥のおかげもあり、檜の机に椅子。ペルシャ絨毯だそうだが？」

雄二「ああそうだ。俺は、高輪財閥の次期社長だ。このくらい他愛もない。」

源二「やつぱり。高輪財閥とかかわりがあったか。」

美春「お兄様、これで高輪財閥の関係者は、次期会長の玲、姫路城の春、次期社長夫人島田美波、そして、次期社長、坂本雄二。この四人です。」

美春は、今聞いたことを、明久に話す。

明久「いたたた。この件の指示は、進に任す！うーん」

康太、優子、秀吉、翔子は、明久が倒れたことにより、ベッドに運んだ。

ちなみに教室に残っているSクラスメンバーは、最高司令官代理最高幹部の一人、平

賀源二。情報管理官、清水美春。副最高司令官、古沢進。司令官、根本恭二。Fクラスは、須川、田川、高山、原良、島田、姫路瑞樹そして、司令官、坂本雄二。

源二「話に戻る。Fクラスの設備は、今のランクから5ランク落とし、床は固い土。机は、足のない木の薄い板。椅子はなし。以上！」

島田「なによそれ！横暴じゃない！高輪財閥に逆らつていいと思つてるの!?!」

源二「構わねえ。俺らは進「吉井財閥の人間だ」俺が言おうと思つたのに！進！進！あいつの指示だ。」しやあねーな。」

島田「吉井財閥！玲さんを離縁させた憎き財閥！さあ、須川たち、やつておしまい！殺すのよ！あいつらを！さあ！」

源二「二つ目に、Fクラスの忌々しい団体を解散すること。また、作つたら強制的に西村先生の強制指導が入る。」

雄二「ああ。分かった。やめろ美波！玲ねえちゃんの話によると今、事を荒立てるなとな。」

美波「関係ないわ！さあ！ころしなさい！さあ！」

そして、源二は3つ目を言う。

源二「三つ目は、人員をとられても文句を言わないこと。」

雄二「なに？どういうことだ？」

そして、源二はあの、案を出したのだ。

源二「四つ目。須川！田川！高山！原良！全員Sクラスに編入だ！」

須田高原「よっしやあ！」

雄二「おまえら！どこへいく！」

須川「Sクラスに決まってるだろ！」

美波「裏切る気！あんたら！」

須川「俺たちはもともとお前らの味方ではないんだよ。」

高山「俺たちの肩書きは、Fクラス最高戦力ではない。俺と田川、原良は吉井財閥親衛隊。そして、お前がバカにしていた須川は、Sクラス並の成績を持ち、尚且つ、次期会長専属の執事だ。」

源二「よって、四人は俺のクラスに入る！」

設定Ⅱ

吉井明久（よしいあきひさ）

文月学園第2学年Sクラス代表

Sクラス最高総司令官

吉井財閥次期会長

試召戦争中ずつと入院していたが、戦争終了3日後に退院し、しばらく安静は必要だが、クラスに復帰する。

高輪財閥の玲のことを聞くと頭痛が起こり倒れてしまう。

土屋康太（つちやこうた）

文月学園第2学年Sクラス代表護衛

Sクラス最高総司令官護衛

吉井財閥次期会長専属執事

明久の側に常にいる最強の人物。明久から離れることはない。どこへいくのにもかかわらずついていく。明久にとって、男のなかで一番の信頼を持つ。

木下秀吉（きのしたひでよし）

文月学園第2学年Sクラス

Sクラス最高司令官護衛

吉井財閥次期会長専属料理人

明久の側に常におり、玲のことをよく知る人物。玲を恨んでいる一人であり、明久を常に気にかけている。姉しか知らない秘密がある。

木下優子（きのしたゆうこ）

文月学園第2学年Sクラス

明久の秘書1

吉井財閥次期会長夫人1

明久の側に常におり、明久の婚約者の1人。玲のことは詳しくは知らないが、明久が倒れるほどなのでなるべく知らないようにしている。秀吉の姉で弟？の秘密を唯一知っている。

工藤愛子（くどうあいこ）

文月学園第2学年Sクラス

明久の秘書2

吉井財閥次期会長夫人2

優子の設定とほぼ同じ。秀吉の秘密は知らない。

佐藤美穂（さとうみほ）

文月学園第2学年Sクラス

明久の秘書3

吉井財閥次期会長夫人3

優子の設定とほぼ同じ。明久の幼馴染み。秀吉の秘密は知らない。

清水美春（しみずみはる）

文月学園第2学年Sクラス

Sクラス情報管理室室長

明久の秘書4

吉井財閥次期会長夫人4

優子の設定とほぼ同じ。明久のことをお兄様と呼び慕っている。秀吉の秘密は薄々

気づいている様子が見られる。

小山友香（こやまゆうか）

文月学園第2学年Sクラス

元Cクラスの為、Cクラスへの交渉権を所有

明久の秘書5

吉井財閥次期会長夫人5

優子の設定とほぼ同じ。ツンデレだが、明久の前ではデレデレ。危機察知能力がすごく、明久に危険が迫るとすぐに親衛隊や康太に知らせる。

岩下律子（いわしたりつこ）

文月学園第2学年Sクラス

明久の秘書6

吉井財閥次期会長夫人6

優子の設定とほぼ同じ。秀吉の秘密は知らない。

菊入真由美（きくいりまゆみ）

文月学園第2学年Sクラス

明久の秘書7

吉井財閥次期会長夫人7

優子の設定とほぼ同じ。秀吉の秘密は知らない。

原良佐織（はららさおり）

文月学園第2学年Sクラス

明久の秘書8

吉井財閥次期会長夫人8

吉井財閥同盟原良財閥お嬢様

優子の設定とほぼ同じ。栞の双子の姉。

原良栞（はらしおり）

文月学園第2学年Sクラス

明久の秘書9

吉井財閥次期会長夫人9

吉井財閥同盟原良財閥お嬢様

優子の設定とほぼ同じ。佐織の双子の妹。

霧島翔子（きりしましよこ）

文月学園第2学年Sクラス副代表

明久の秘書10

吉井財閥次期会長夫人10

吉井財閥傘下霧島財閥お嬢様

優子の設定とほぼ同じ。雄二の元婚約者。

※以下のキャラは役職のみ。

平賀源二（ひらがげんじ）

文月学園第2学年Sクラス

Sクラス最高司令官1

吉井財閥関係者

根本恭二（ねもときょうじ）

文月学園第2学年Sクラス

Sクラス最高副司令官1

吉井財閥関係者

須川秀信（すがわひでのぶ）

文月学園第2学年Sクラス

Sクラス最高幹部

元Fクラス幹部（Sクラス諜報員）

吉井財閥関係者

高山公明（たかやまきみあき）

文月学園第2学年Sクラス

Sクラス最高幹部

元Fクラス幹部（Sクラス諜報員）

吉井財閥次期会長青年親衛隊

田川清徳（たがわせいとく）

文月学園第2学年Sクラス

Sクラス最高幹部

元Fクラス幹部（Sクラス諜報員）

吉井財閥次期会長青年親衛隊

原良義和（はららよしかず）

文月学園第2学年Sクラス

Sクラス最高幹部

元Fクラス（Sクラス諜報員）

吉井財閥次期会長青年親衛隊

古沢進（こさわすすむ）

文月学園第2学年Sクラス

Sクラス最高司令官

吉井財閥次期会長専属執事

東雲一葉（しののめかずは）

文月学園第2学年Sクラス

Sクラス最高総司令官護衛夫人

吉井財閥次期会長側近

康太の嫁候補

寿蘭（ことぶきらん）

文月学園第2学年Sクラス

Sクラス最高総司令官護衛夫人

吉井財閥次期会長側近

秀吉の嫁候補↓康太の嫁候補

元第1学年Aクラス

柴崎陣

文月学園第2学年Sクラス

明久の味方だが、何を考えてるかわからない。雄二の相談に乗っている。

【Fクラス】

坂本雄二（さかもとゆうじ）

文月学園第2学年Fクラス

Fクラス最高司令官

高輪財閥次期社長

玲の弟分

玲に毒された1人。明久と本当なら仲良くしたいが、玲が怖くて逆らえないでいる。

Sクラスのある男に相談をしている。

島田美波（しまだみなみ）

文月学園第2学年Fクラス

Fクラス最高副司令官

高輪財閥次期社長夫人

玲の妹分1

姫路瑞樹（ひめじみずき）

文月学園第2学年Fクラス

Fクラス最高副司令官

玲の妹分2

姫路春（ひめじはる）

文月学園第2学年Fクラス

Fクラス最高副司令官

Sクラスに好きな人がいる。

オリエンテーション 1

ここは文月学園特別棟多目的ホール。ここの席は1000名は座れるほどの椅子がある。ここに集められたのは、AとEクラスの女子とAクラスの久保利光、そして、Sクラスのメンバーであった。また、ここも中継が繋がっており、本館の体育館には、AとEクラスの男子（久保を除く）、Fクラスである。するとホールの前方にSクラス担任でもあり、学園長の藤堂カヲルが出てくる。

カヲル「まず始めに、我がSクラス、先日の試召戦争大勝利おめでとう！そして、久保！よくやってくれたよ。久保、褒美をやろう。なにがいい。宗一郎！」

西村「はい！この中から選べ。」

学園長は、西村を呼び出すと箱を持ってきた西村が、やって来て、久保の前に箱を差し出した。その中には、「授業料免除・Aクラス司令官・Sクラス移籍」と書いてあった。久保は少し悩み、答えを出した。

利光「Sクラスに移籍したいです。」

利光の答えを聞いたカヲルは、こう言った。

カヲル「わかった。これをもって、久保利光をAクラスからSクラスに移籍するのを

発表する。では、これから、久保に与える役職は、Sクラス参謀とする。」

カヲルは、さらに話を続けた。

カヲル「Fクラスについての処分を言い渡す。AとEクラス男子とFクラス主犯格四人以外の生徒は1週間自宅謹慎と準観察処分者に認定する。Fクラスで主犯格は、1週間、指導室の監獄に入ってもらい、そこで毎日十時間の勉強をする。」

カヲルは、本題に入る。

カヲル「では、本題に入るとしようかね。これからの日程は、今日がクラス対抗テストスタンプラリー、それが終わったら合宿、そして、夏休み。そのあとに文化祭、冬休み、修学旅行となっている。楽しむように！では、テストスタンプラリーを行おうとしよう。高橋。あとを頼んだよ。」

カヲルは挨拶を済まし、学園長室へ帰っていった。学園長と変わるように出てきたのは高橋であった。

高橋「スタンプリは、学校中に設置してあります。スタンプリ毎に簡単なテスト、二問程度ですが問題を出します。1問答えられたら半分のスタンプリを、全部答えられたらスタンプリを上げます。また、解けない場合は、その場所にスタンプリが終わるまでいてもらう事になります。では、各クラスの司令官は、5人一組のグループを作ってください。」

明久らは、話し合っていた。

Fクラスはと言うと、勝手に5人ずつ組まされ、主犯格四人は余り、四人で組むことになる。

雄二は、組み終わったと近くの指導担当の先生に伝えられ、高橋に伝えられた。

オリエンテーション2

ここは文月学園、第2ホール。ここには6人一組の列が並んでいた。

1列目 古沢進 柴崎陣 須川英信

寿蘭 東雲一葉 霧島翔子

2列目 高山公明 田川清徳 原良義和

原良沙織 原良栞 清水美春

3列目 平賀源二 根元恭二 菊入真由美

岩下律子 小山友香 久保利光

4列目 吉井明久 土屋康太 木下秀吉

木下優子 工藤愛子 佐藤美穂

と並んでいた。ここでは高橋先生による説明をうけていた。本校舎でも説明は行われていたが、主犯格の四人は本校舎の指導室の中の補習室で説明を受けていた。説明を受けていたのは、Fクラスの代表にして、高輪財閥の次期社長、坂元雄二。Fクラス副代表の姫路瑞樹。その妹の姫路春。雄二の彼女でFクラス最高幹部、島田美波。そして、ハーバード大学からの一時的留学生、タカナワ・キャッツ・アキラである。

高橋教諭によると、クラスが低くなるにつれて問題は難しくなるということだった。そして。数分後オリエンティングは、始まった。

Fクラス側は、主犯格の5人以外は1問目で脱落した。

しかも問題は「この学園の名前を答えなさい」。そう、奴等は学園の名前すら答えられなかったのだ。5人は、スラスラと答え、本校舎4階、別館へ通じる6階まで後2層と迫ったとき、ある問題が出題された

問題【悪名高い財閥の名前は?】【初代会長の名前は?】

と出題され、3人はこう答えようとした。

姫路「勿論、吉井財閥です!会長は、明久くんです!」

美波「吉井財閥よ!会長は、吉井よ!」

春「吉井財閥です。ちなみに会長は、吉井明夫さん。美波ちゃん。会長は吉井って当たり前じゃない。(笑)」

が二人は違った。

雄二「おまえら、違うぞ。恐らくここは、」

アキラ「高輪財閥ですね。会長は、坂本雄一さんです。」

五階に上がり、問題に答えた5人は6階にたどり着いた。問題に答え別館にたどり着いた5人は前に一クラス全員が立ち塞がっていた。

それは、Eクラスだった。その前に立っていたのは、Eクラス代表の三善美子だった。なぜそんなことになっていたのかというと、時間は30分前にさかのぼる。

Sクラス側

進「先程明久がまた倒れた。恐らくこの気配のせいだろう。」

陣「気配？ なにも感じないが？」

一葉、蘭「なにかしらいるのかしら？」

進「ああ。明久がブルブル震えて倒れたと言うことは1つしかない。あの女が居るんだ。」

進ら、吉井財閥関係者は気づいていた。アキラが潜んでいたことに。オリエンテeringは、Sクラスは、開始5分で全員終わっていたのだ。

その時明久についていた秀吉から伝言が入った。

秀吉「伝達。アキラ殲滅のために、Eクラスから投入していく。少しでも叶わないと思ったら次のクラスに助けを求めること。明久が目覚める時間稼ぎをやって欲しいのじゃ。」

全員「おおーっ。」